

アジア大会で金・銅を獲得

習志野高校ボクシング部

片岡雷斗・叶夢選手

2023 ASBCアジアユース&ジュニア選手権大会で兄弟そろって活躍した習志野高校ボクシング部の片岡雷斗選手、片岡叶夢選手が令和5年12月1日、大崎栄校長、関茂峰和顧問らと習志野市役所を訪れ、宮本市長に大会の様子などを報告した。

アジアユース&ジュニア選手権大会は10月21日から11月4日まで、カザフスタンで開かれた。アマチュアボクシングのカテゴリは15歳と16歳のジュニア、17歳と18歳のユース、19歳から40歳のエリートに分かれる。アジア大会はジュニアとユースが1年ずつ交互に行われてきたが、今大会では2カテゴリーが合同で開催。2年生の兄の雷斗選手はユース51kg級で優勝、1年生の弟の叶夢選手はジュニア52kg級で第3位となった。習志野ボクシング部のアジアユース金メダルは堤駿斗選手、堤麗斗選手に次いで、雷斗選手が3人目。片岡兄弟は7人兄妹の3



片岡雷斗選手(左)と叶夢選手

男と4男で佐倉市出身。習志野高校ボクシング部に所属した兄たちにあこがれて小学生でボクシングを始め、ともに中学時代には2度、日本一になっている。

雷斗選手は一昨年の全国高校総合体育大会(インターハイ)では1年生ながら優勝。昨年3月の第34回国高校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ大会ではライトフライ級で優勝を果たし、最優秀選手にも選ばれている。インターハイでは準優勝、国体では優勝。高校での戦績は35戦34勝。

叶夢選手は小中学生の全国大会で日本一になり、早生まれの高校生に勝って代権を獲得した。アジア大会出場予定のため、インターハイは欠場したが、国体では優勝を果たした。

雷斗選手は「海外での大

習志野高校ソフトボール部

3月の全国選抜大会に出場



24回目の全国選抜大会出場となる習志野高校ソフトボール部

習志野高校ソフトボール部が3月16日から静岡県富士宮市で開催される「第42回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会」に出場する。

千葉県代表を決定する昨年11月の千葉県高等学校新人体育大会ソフトボール競技では、柏井高校、幕張総

合高校、柏陵高校をいずれも5回コールドで破り、準決勝戦では千葉英和高校に3-0の完封勝利。決勝戦では千葉経済大学附属高校と対戦し、10-3で優勝を勝ち取った。習志野高校の県新人戦優勝は3年ぶり24回目。

大会では全試合で本塁打を放った福山結芽羽キャプテンは、全国大会出場に向けて「県大会が終わり、いまは全国のレベルに合わせて守備、打撃とも練習しています。3年前の準優勝を上回る優勝を目指すのがんばりたい。習志野高校の魅力としては、伝統的な守備力と爆発的な攻撃力があり、そこを見てもらいたい」と語った。

「年末年始特別警戒取締り出動式」が令和5年12月10日、モリシア津田沼1階センターコートで開かれた。

千葉県警察の年末年始特別警戒の取締り実施と冬の交通安全運動の初日、習志野警察署では、電話de詐欺などの犯罪の被害を防ぎ、交通安全意識の向上を図ろうと催した。

一日警察署長は、アジアユースチャンピオンとなった習志野高校ボクシング部の片岡雷斗選手が務めた。習志野警察署の飯田耕士署長から委嘱状を交付された片岡選手は「習志野市では自転車に関する事故が多く、自転車の盗難事件も

多発しています。みなさんには自転車に乗る際は、ヘルメットを被り、交通ルール、交通マナーを遵守してもらい、自転車に力ぎをかけてもらうようお願いいたします。みなさんと一緒に、習志野市の安全で安心のためにがんばっていききたい」と挨拶した。

飯田署長は「犯罪や交通事故を一件でも減らすため、一丸となって取り組んでいるところです。しかし、安全で安心なまち習志野の実現は警察の力だけでは成し得ません。出席の関係機関・団体をはじめとする、市民一人ひとりの防犯、交通事故防止に対する意識の向上が不可欠である

株式会社オービック(本社・東京都中央区京橋)と包括連携協定を結んだ。習志野市はこれまでオービックシーガルズと地域やスポーツの振興、健康づくりに関する事業に取り組んできた。オービックおよびオービックシーガルズとの相互の連携によって、それぞれの知見やノウハウを有効に活用し、健康づくり、スポーツ推進、青少年の健全育成に取り組む。

習志野市は令和5年11月5日、オービックシーガルズのメインスポンサーである株式会社オービック(本社・東京都中央区京橋)と包括連携協定を結んだ。習志野市はこれまでオービックシーガルズと地域やスポーツの振興、健康づくりに関する事業に取り組んできた。オービックおよびオービックシーガルズとの相互の連携によって、それぞれの知見やノウハウを有効に活用し、健康づくり、スポーツ推進、青少年の健全育成に取り組む。

電話de詐欺の被害を未然防止
セブンイレブン津田沼高校前店
習志野警察署 岩木晶子さんに感謝状

電話de詐欺による被害を未然に防止したセブンイレブン津田沼高校前店の岩木晶子さんが令和5年11月29日、習志野警察署の飯田耕士署長から感謝状を贈られた。

売場で商品を整理して



飯田署長から感謝状を贈られた岩木さん(前列中央)

いた岩木さんは、高齢男性が慌てた様子で入店し、レジにいたスタッフに「急いでいるんだ」と言うのがわかった。岩木さんが男性に事情を尋ねたところ、パソコンがフリーズして、そのためにプライベート型電子マネーカードを購入したい旨話した。

同店では一昨年、パソコンがウイルスに侵されたと思い込ませ、プライベート型電子マネーカードの購入を要求する詐欺の被害を未然に防ぎ、岩木さんとスタッフが習志野警察署から感謝状を受けていた。

岩木さんは前回とは購入カードの名前が違ったものの、同じ手口の詐欺に違いないと思い、その時の話をしたところ、男性も詐欺ではないかと思いはじめた。警察に事情を説明するよう勧め、交番に電話するのを待っていて下さいと伝えられた。到着した警察官が男性

の自宅で調べたところ、詐欺であったと判明した。

岩木さんは「カードの名前は違っても思い切った交番に電話して、話を聞いてもらってよかったと思います」と話した。

飯田署長は「積極的な声かけを行うなど、適切な対応により、詐欺被害を未然に防止されました」と功労を称えた。

習志野警察署管内の電話de詐欺の認知件数は前年同期に比べて減少しているが、昨年11月末現在の被害額はわかつてはいるだけでも7200万円以上あり、被害は依然として後を絶たない。

年末年始特別警戒取締り出動式

習志野警察署

片岡雷斗選手が一日署長に

「習志野の安全安心のためにがんばりたい」



一日警察署長を務めた片岡選手(左)と飯田署長

と考えています。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします」と述べた。

出動式には関係団体、キラット・ジュニア防犯隊の隊員のほか、マスコットキャラクターの千葉ロッテマリーンズ「リーリンちゃん」、ナラシド、千葉県警「シーポック」も参加。防犯隊の隊員らはJR津田沼駅前で防犯意識の向上と交通事故防止を呼びかけた。

習志野警察署からのお知らせ

習志野警察署管内で昨年1月から10月末までに自転車関係した交通事故の件数は339件に上ります。安全確認をしっかりと行い、ルールを守って、事故を防ぎましょう。

自転車事故を防止しよう!

見通しの悪い交差点 曲がり角

飛び出し 危険!

一旦停止・安全確認

急な進路変更・道路横断

後方・周囲の安全確認

交通ルールを守る

飲酒運転

信号・標識無視

夜間無灯火